歌浦っ子だより（学校だより）

「やさしい心　夢かがやく　歌小の子どもの育成」

平成29年　5月29日　　文責：校長　内野義和

運動会で子どもが学んだもの

先日の運動会では、ご観覧・ご声援、誠にありがとうございました。また、大漁旗の設置、テントの撤去などご協力いただきまして、ありがとうございました。おかげさまで、青空の下、新緑の中、すばらしい運動会ができました。

さて、開会式の校長あいさつの中で、私は子どもたちへ次のように話しました。

> 行進に感心しました。皆さんのやる気が伝わってきました。「はじめよければすべてよし」ということわざがあります。はじめがよいとそのあともうまくいき、すべてよいという意味です。このあとの競技も、表現も、応援もすべてすばらしくなるだろうなと思います。ぜひそうして、会場のみなさんを感動させてください。**感動させるためには、行進のときに見せたやる気にプラスして、本気を出してください。**やる気と本気でがんばると、皆さんは輝き、その姿が感動を呼ぶことになるのです。

今年の運動会のスローガンは、「もえろ太陽！かがやけイナズマ！本気ぶつかる運動会！」でした。3年生がつくり、提案し、代表委員会で決定したものでした。子どもたちの運動会のめあては「**本気**」だったのです。それも踏まえて、先のように私は子どもたちへ話したのです。

運動会前に6年生の子どもは次のように書いていました。

- **感動できる**運動会にしたい。そのために**力つきるまで**頑張りたい。
- **本気**で頑張る運動会にしたい。
- 一人一人が**輝く**ような運動会にしたい。

「**本気で頑張ることで、一人一人が輝き、感動できるようにする**」という思いを子どもはもっていたのです。こういう思いをリーダーの6年生がもっているから、全体がまとまり、すばらしい、感動的な運動会になったのだと思います。

ところで、小学校最後の運動会となった6年生の子どもたちは、この運動会で何を学んだのでしょうか。6年生は次のように書いています。

- **達成感がわかる**自分になった。
- **家族のあたたかさ**がわかった。
- **人の役に立つことをする大切さ**がわかった。
- **あきらめない心**をもった。
- **何事にも一生懸命に頑張ろうという気持ち**になった。

何かをやってもなかなか達成感を感じなかった子どもが、達成することのすばらしさに気づいたのです。お父さんから励ましてもらいながら走ることで、家族の温かさに気づいたのです。係の仕事をしっかりすることで、人の役に立つことがいかに大切かに気づいたのです。リレーで頑張ることができ、あきらめない心がいかに大切かに気づいたのです。「よさこい」の練習で力いっぱい頑張ることで、これから何事にも一生懸命に頑張ろうという気持ちになったです。

行事は打ち上げ花火に終わると何もなりません。子どもが行事から何を学んだかを振り返らせることが大切です。振り返り、何を学んだかを自覚すれば、次にいかすことができます。運動会では6年生をはじめ、全員が学年に応じた振り返りをしました。そしてまた1つ成長しました。これが、今年度本校が目指している「できた！からつくり・いかし、そしてかわっていく」の姿です。次の行事でも成長を目指します。

右の写真は5年生・6年生の「よさこい」の最後の決めのシーンです。練習では、6年生が5年生に踊りを教えていました。それに加えて、ゲストティーチャーをお呼びして2回指導していただきました。さらにすばらしい踊りになりました。ゲストティーチャーの方も当日観覧していただきました。「2回しか指導しなかったですが、ここまで『よさこい』が高まってうれしいです」とおっしゃっていました。また、アンコールの際、中学生も4年生以下も一緒になって踊るのを見られて感動されていました。

来月6月は「いのちを見つめる強調月間」です。運動会は「動」の学習でした。これからは「静」、心の学習になります。実り多い学習となるよう、取り組ませていきます。計画の詳細は後日お知らせいたします。